

# 緑化試験等の進め方



平成20年3月

## 1. 石積み護岸の緑化の目的

自然石で形成される石積み護岸の景観の改善や、  
利用空間としての場の向上を図る。  
(画一的、人工的、殺伐感の緩和を図る)

自然石で形成される石積み護岸を、再生のテーマである  
「海と陸の連続性」を反映した施設への向上を図る。

先進的な取り組みの事例として、今後の海岸事業の  
パイロット的な工事とする。

## 2. 石積み護岸の緑化試験の進め方(案)

### (1) 試験の目的

市川海岸の石積み護岸の緑化手法について検討する。

#### 石積み護岸の緑化手法

護岸構造を利用した基盤の形成方法を見出す。

隙間タイプ？ 被覆タイプ？ 真水が確保できる構造は？

市川海岸の石積み護岸の立地環境に合った植物を確認する。

厳しい環境で生育・根付くか？

立地環境に合った緑化手法を見出す。

種まき手法？ 苗植え手法？ 株の移植？

2

### (2) 試験の進め方(案)

試験項目	特徴	進め方
緑化試験	陸上、モニタリング	・市民参加を求める ・事業者施工で公開型



#### 試験内容について

試験内容を護岸検討委員会で検討し、試験計画として取りまとめ、ホームページ上で公開する。

現地試験(植え込み、観察)について市民参加を募る。

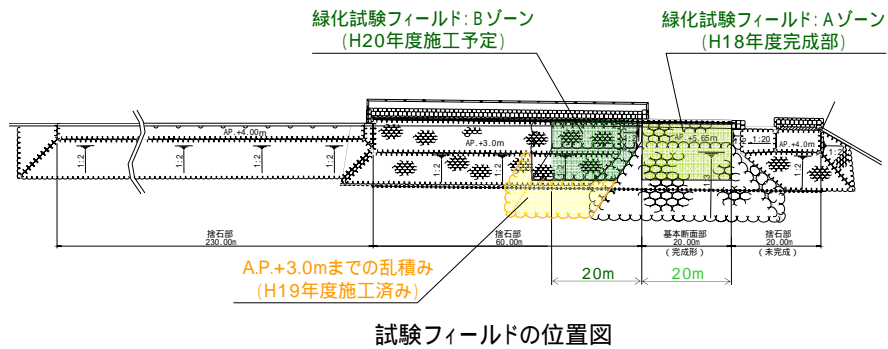
観測終了後は試験結果の検証と評価を行い、護岸検討委員会で植物の種類を決定する。

3

### (3) 試験フィールド(案)

試験フィールドは以下のB(H20年度実施箇所)とする。

試験場所	概要	課題点
A:H18年度完成部	完成形の利用、 吸い出し防止シートなし	シートが無いため、間詰めを行うと流出による潮間帯生物への影響が考えられる。 真水をどのように確保するか
B:H20年度施工箇所	緑化に対する断面計画が可能	真水をどのように確保するか



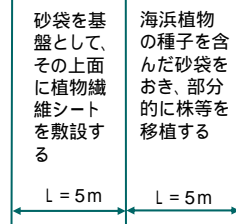
4

### (4) 試験内容(案): Aゾーン

Aゾーン : H18年度施工部



注) 海浜植物の移植については専門家の指導を得て実施。

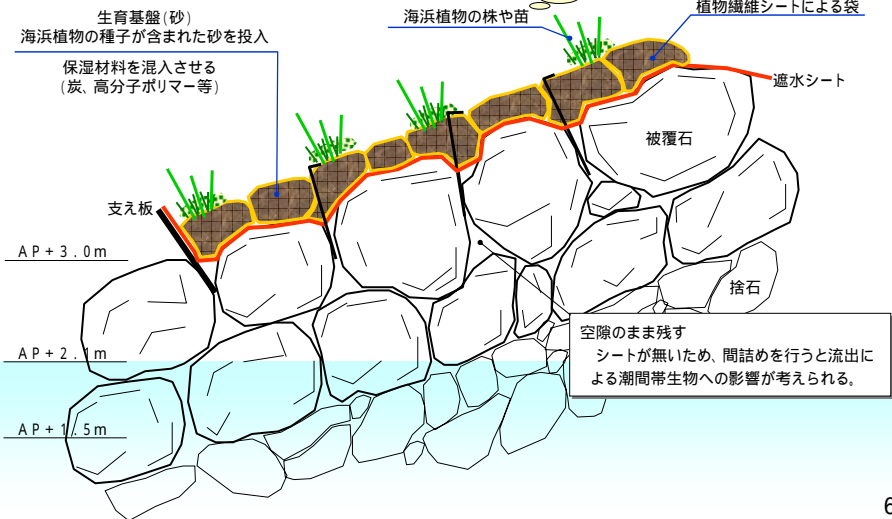


5

## 植物繊維シート袋の基盤による試験

課題点 砂が流れ出ないか。

生育基盤(砂)や苗・株について  
江戸川放水路や船橋三番瀬海浜  
公園からの導入は可能か？



## 植物繊維シート袋の基盤 + 植物繊維シートマット

課題点 砂が流れ出ないか。

生育基盤(砂)や苗・株について  
江戸川放水路や船橋三番瀬海浜  
公園からの導入は可能か？

